

いざ、耕す！

私たちは自然の恵みに今日も生かされている。
自然の摂理に逆らわず、
生態系の維持こそが、海を生きかすこと。
かけがえのない生きた海を取り戻すために、
私たちは、海底を耕します。

海底耕耘
PROJECT



明石浦漁業協同組合



兵庫県東播磨県民局

海を取り戻すムービーはこちら



海のまち・明石

兵庫県明石市は「海のまち」と呼ばれ、古来より漁業が盛んに行われてきました。明石浦漁協では鯛や蛸の他にも四季折々に約100種類もの魚が水揚げされています。



海は綺麗になったが…

昭和40年代に公害などの影響で海の水質汚染が問題となり、私たちは汚れた海を綺麗にするため様々な努力を続けてきました。その後水質は大きく改善されましたが、今度は漁獲量が減少するという新たな問題が発生しました。

海底耕耘プロジェクト

漁業に深刻なダメージを与えているこの問題の原因は海中の「栄養塩」不足。そこで私たちは漁業環境を改善すべく、海底を耕し栄養塩を海中に供給する活動「海底耕耘プロジェクト」を立ち上げました。



かいていこうん 海底耕耘とは

海に投入した鉄製器具「耕耘桁(けた)」をロープに結んで船で引っ張り、海底を耕す。貝などの堆積物をかき混ぜ、硬くなった土や泥、砂を掘り起こすことで底質環境を改善し、中にたまっている窒素やリンなどの「栄養塩」を海に放出する効果があり、生物が生息しやすい環境を作る。ノリの色落ちやイカナゴのシンコ(稚魚)漁の不漁の原因とされる海の栄養不足を改善し、



豊かな海を目指す取り組みの1つ。兵庫県内では2004年から瀬戸内の漁協で試験的に始まり、08年から本格化。18年には全国トップのべ約2300隻が作業に当たるなど、力を入れている。

豊かな海を 目指して

「たくさん魚が獲れる海であってほしい。」

われわれ漁業関係者にできることは限られているかもしれませんが、後継者の為にも栄養が豊富で多様な生物が棲む海を目指して、今できる事を信じて活動を続けてまいります。



海の豊かさを守ろう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



明石浦漁業協同組合



兵庫県東播磨県民局